

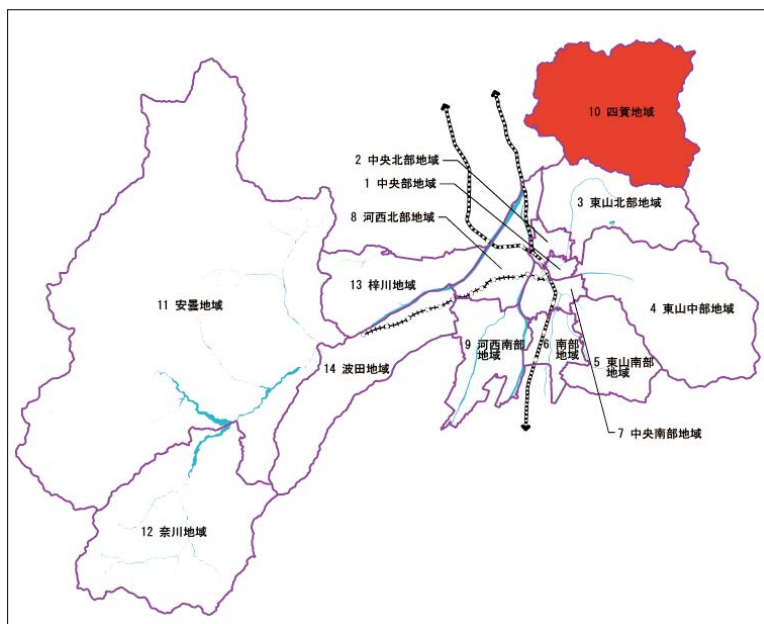
10 四賀地域（四賀地区）

（1）地域の概況

四賀地域は、戸谷峰（1,629メートル）を最高に、1,000メートル級の山並みに囲まれた盆地であり、豊かな自然、文化財、歴史の街並みがある地域です。会田川と保福寺川の2つの河川に沿って農地と集落が散在しています。

安心して食べることのできる、美味しい有機無農薬の米や野菜を供給する地域「ゆうきの里「エコビレッジ四賀」」を掲げて、特産品の開発や製品のブランド化を進めています。

人口減少と高齢化が顕著に進み、生活利便性やコミュニティの維持が課題となっています。そうした中で、滞在型市民農園「クラインガルテン」事業を始めとして都市住民との交流を活発にすることで、定住化促進に結び付けることが今後の課題となっています。また、土砂災害が想定されている区域があり、安全な避難を可能とするための対策が必要となっています。



四賀の集落と農地



宿場町（会田宿）

(2) 地域別構想

① 将来像

「都市との交流による 自然豊かなゆうきの里」
<ul style="list-style-type: none"> ■豊かな自然環境と調和したまちづくり ■里山の景観とふれあえる田舎暮らしができるまち

② まちづくりの方針

自然環境を保全し、田園居住を強化するとともに都市との交流を高め、クラインガルテンや空き家の活用等により地域の活性化を図ります。

中山間地の需要に応じた、持続的な生活サービス機能の構築を図ります。

③ 拠点形成と土地利用

本地域の拠点及び土地利用区分を次のように定めます。

拠点形成	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニティ拠点（四賀支所・四賀地区地域づくりセンター） ●自然交流拠点（クラインガルテン） 		
土地利用	都市的開発 整備ゾーン	商業業務系	—
		産業系	—
		住宅系	—
	農業環境保全ゾーン	田園集落地区（四賀支所、クラインガルテンを含む集落地区）、 山間集落地区（既存集落及び農地）	
自然環境保全ゾーン	森林・丘陵地区（四賀地域一帯に広がる森林地域）		

④ 整備方針

【施設整備】

○幹線道路網の形成

- 四賀地域と中心市街地、周辺都市を結ぶ移動の利便性強化に向けて国道143号の整備を促進します。

○クラインガルテン事業の充実

- 都市住民との交流につながる滞在型市民農園「クラインガルテン」事業の維持・活用を図ります。

○農地付き空き家等の利活用

- 移住・定住等を促進するため、農地付き空き家等の利活用を検討します。

○持続可能な水道事業の推進

- 適切な維持管理を継続し、安全・安心な水道水の安定供給を図ります。

○下水道事業の推進

- 河川等の水質浄化や自然環境の保全のため、既存の公共下水道施設の維持管理に取り組みます。

○土砂災害の防止・被害の低減

- 土砂災害警戒区域・特別警戒区域における危険周知、避難体制整備、開発制限等の対策を推進します。

【公共交通】

○幹線バス路線の利便性の維持、充実

- 地域と中心市街地間の移動を支えるバス路線の利便性の維持、充実に向けた、路線・本数・時間の見直しを図ります。

○移動需要が少ない地区における交通サービスの構築

- 地域内移動について、地域の実態や需要に応じた最適な交通サービスの構築を検討します。

【環境保全形成】

○自然環境の保全

- 農地や山林などの豊かな自然環境の保全を図ります。
- 里山景観の保全・形成を図ります。

○歴史的資源の保全と活用

- 宿場町や社寺の残る歴史的資源の保全とともに、観光施設として活用するための景観形成を図ります。

○豊かな自然環境と調和した住宅地景観の形成

- クラインガルテンや集落地の自然と調和した景観形成を図ります。

●四賀地域 整備方針図



凡例

土地利用区分

- | | |
|-------------|-----------|
| ● 中心商業業務地区 | ● 都市型住宅地区 |
| ● 都市型複合業務地区 | ● 低層住宅地区 |
| ● 複合業務地区 | ● 田園集落地区 |
| ● 地域商業地区 | ● 山間集落地区 |
| ● 学術・医療地区 | ● 森林・丘陵緑地 |
| ● 健康・スポーツ地区 | ● 公園緑地 |
| ● 工業地区 | ● 河川 |
| ● 流通業務地区 | ● 交通施設用地 |
| ● 複合産業地区 | |

道路種別

- 高速道路
- 高規格道路
- 主要幹線道路
- 幹線道路

公共交通

- 鉄道 (JR)
- 鉄道 (その他)
- バス (主要幹線、幹線)